

夫婦の危機が始まるときーパネルデータからみた結婚満足度

下巻第12章（鈴木富美子・佐藤香）

1. 問題関心：家庭内部で生じる危機

- ・結婚満足度（結婚の質）に着目、夫と妻の満足度の差を夫婦の危機と捉え、満足度の差が生じやすい時期と背景を検討

2. 方法

- ・危機の時期：「全国家族調査パネルスタディ」（NFRJ-08Panel）
NFRJ08に回答し、継続調査への協力応諾者を対象に実施（全5回）
幅広い年代（28歳～72歳）を対象
- ・危機の背景：「高卒パネル調査」（JLPS＝H）
高校卒業直前（2004年1月）からほぼ毎年実施。w14（31～32歳）の横断データと、w10（27～28歳）～w14の5時点のパネルデータを使用

3. 夫婦の危機はいつか？：NFRJ-08Panelから

- ・ **結婚満足度**の変化の様態を潜在クラス分析から析出

不満固定型(11%),満足安定型(72%),下降・不安定型(17%)

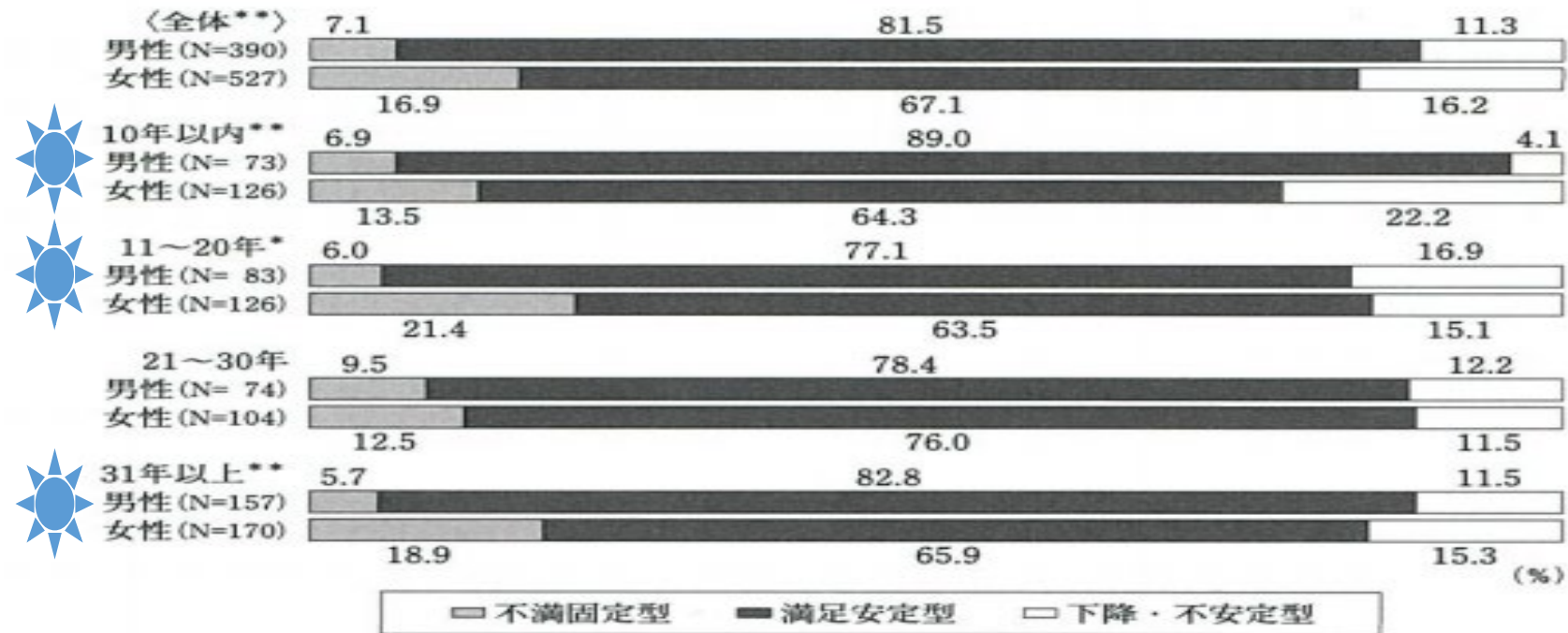


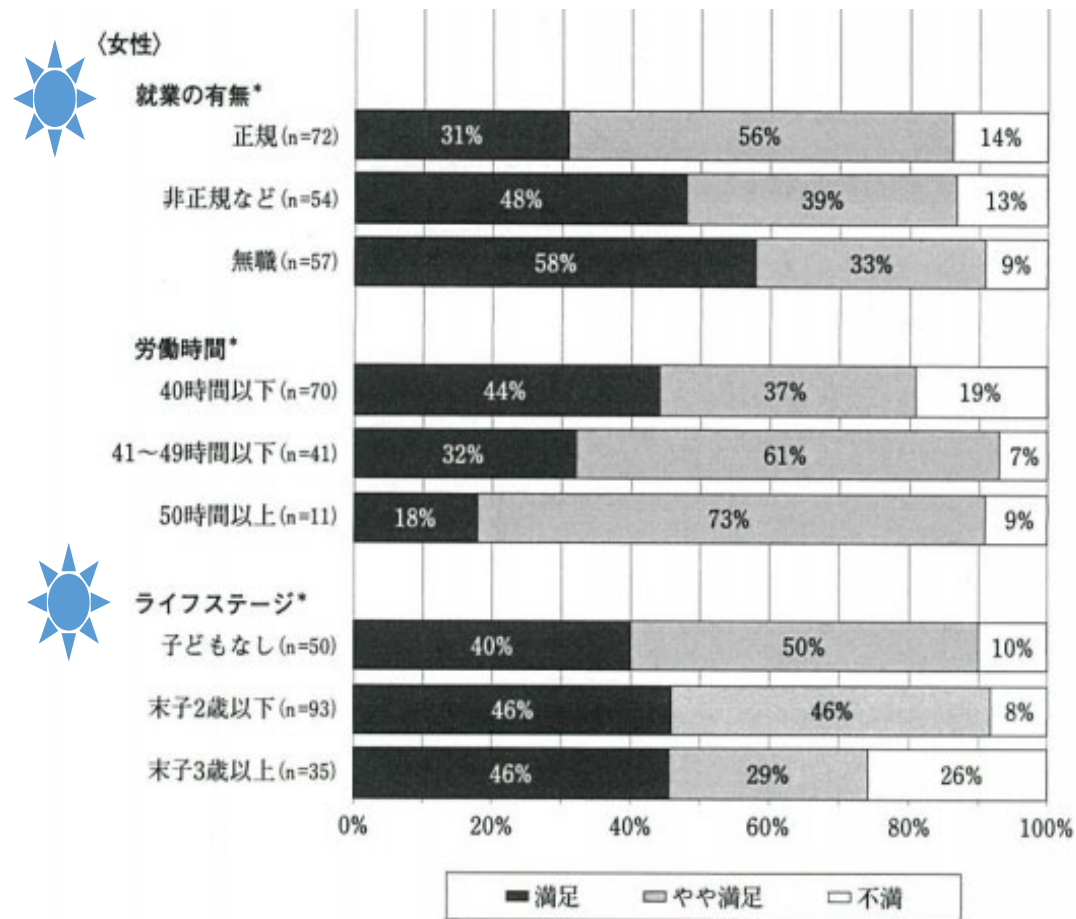
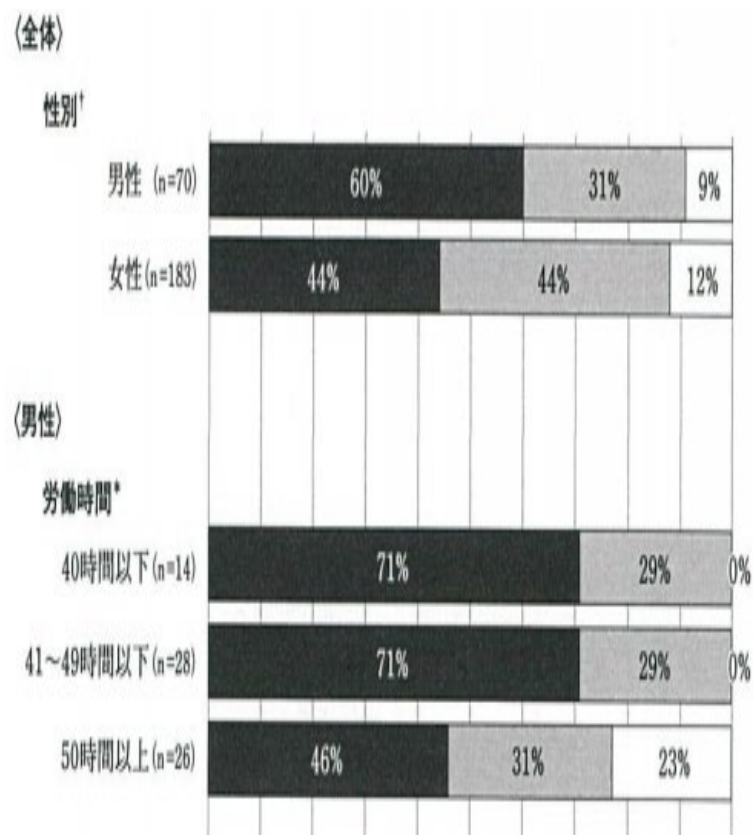
図 12 - 1 性別・結婚年数別の満足類型

→男性：8～9割「満足安定型」vs 女性：初期「下降・不安定型」後期「不満固定型」
→満足度の変化の様態に男女差がみられる結婚生活の初期段階に着目

4. 家族形成初期段階の夫婦関係は？：JLPS-Hより

4.1 横断データからの検討：w14（31～32歳）のデータより

(1) 本人・配偶者の状況と結婚満足度 * 下記は関連が見られたもの



* 図表は関連がみられたもの

図 12-3 本人・配偶者の状況と結婚満足度

(2) 夫の家事・子育てと満足度の関連

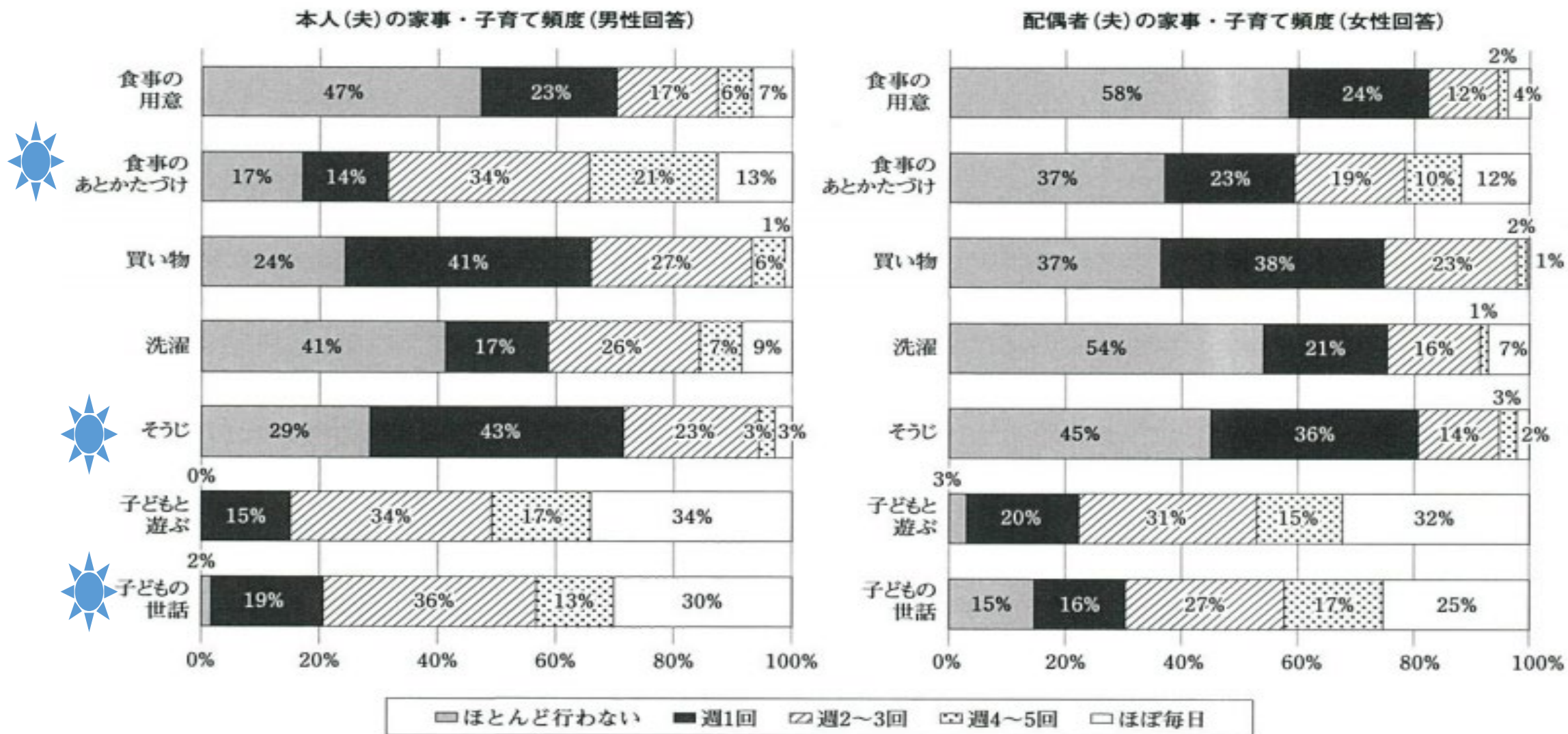


図 12-4 夫の家事・子育て頻度(男性回答 vs 女性回答)

(2) 夫の家事・子育てと満足度の関連

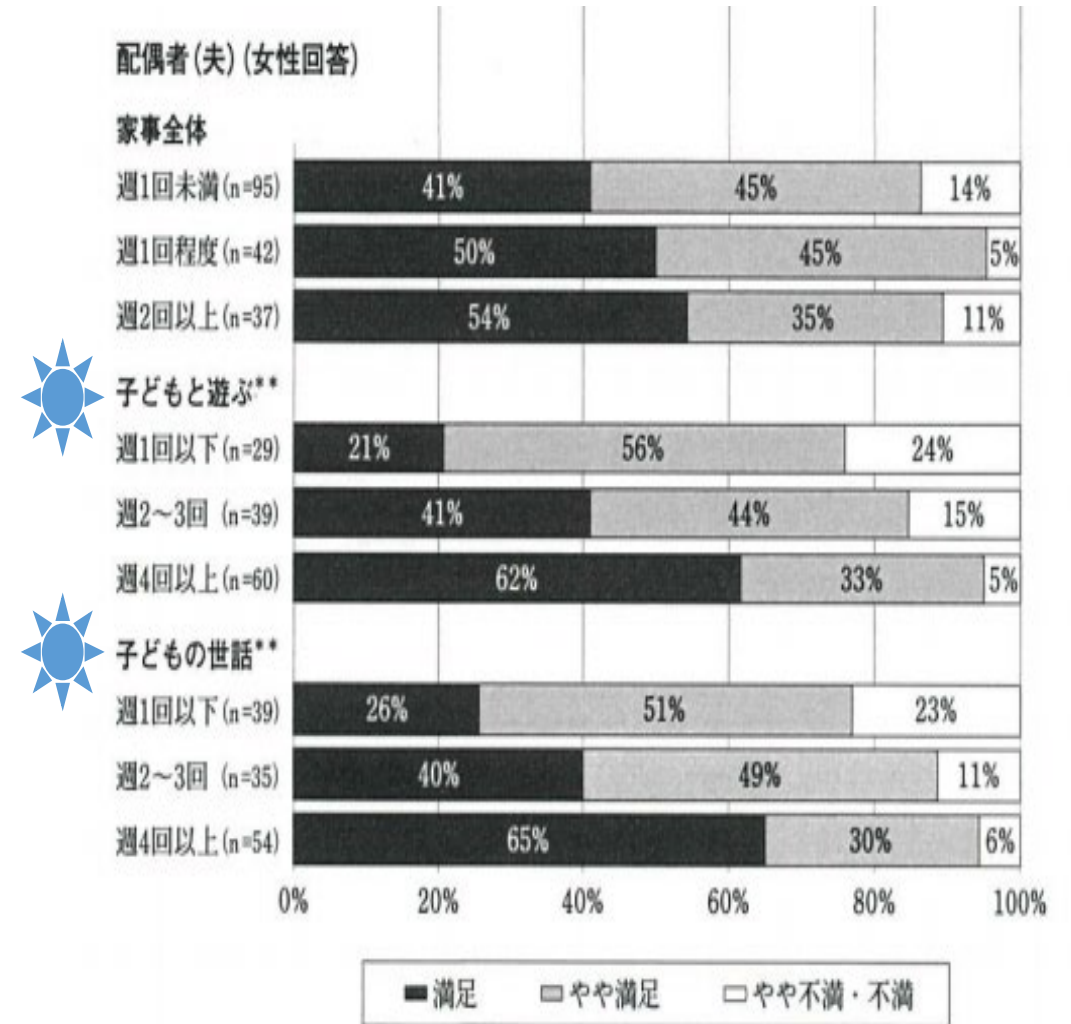
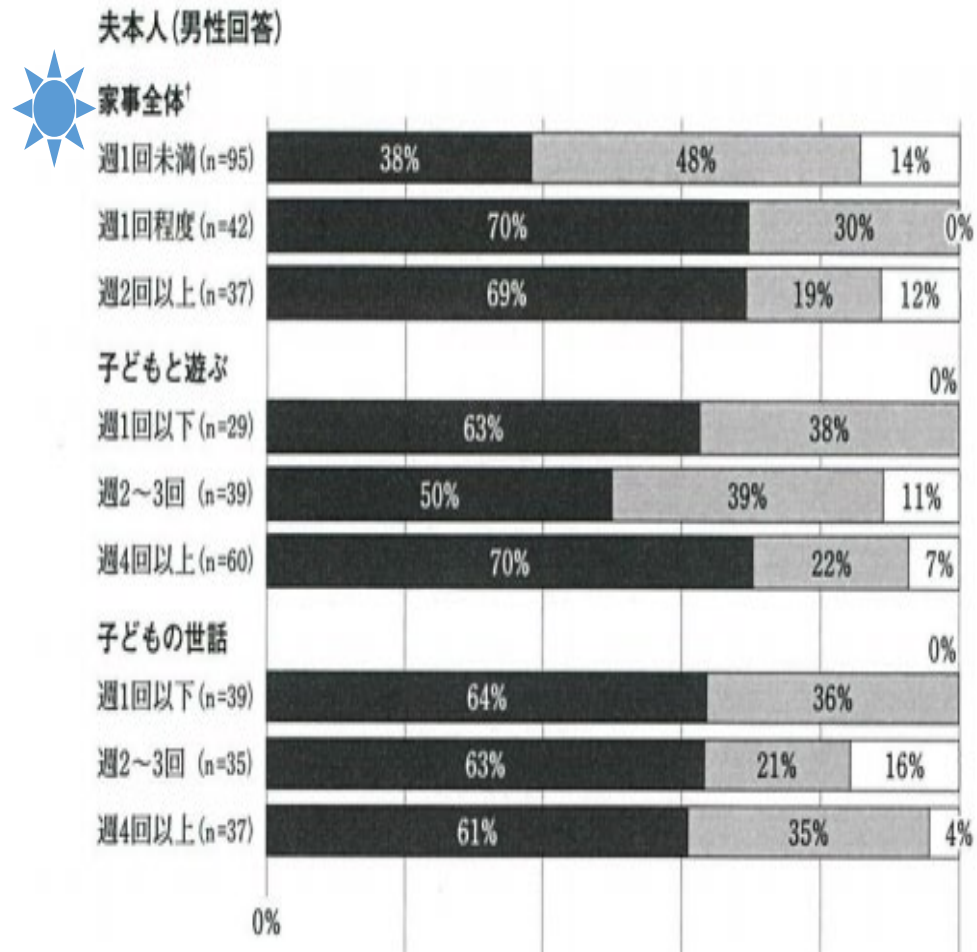


図 12-5 夫の家事・子育て頻度と結婚満足度

4.2 パネルデータからの検討： w10~w14（27~31歳/28~32歳）のデータより

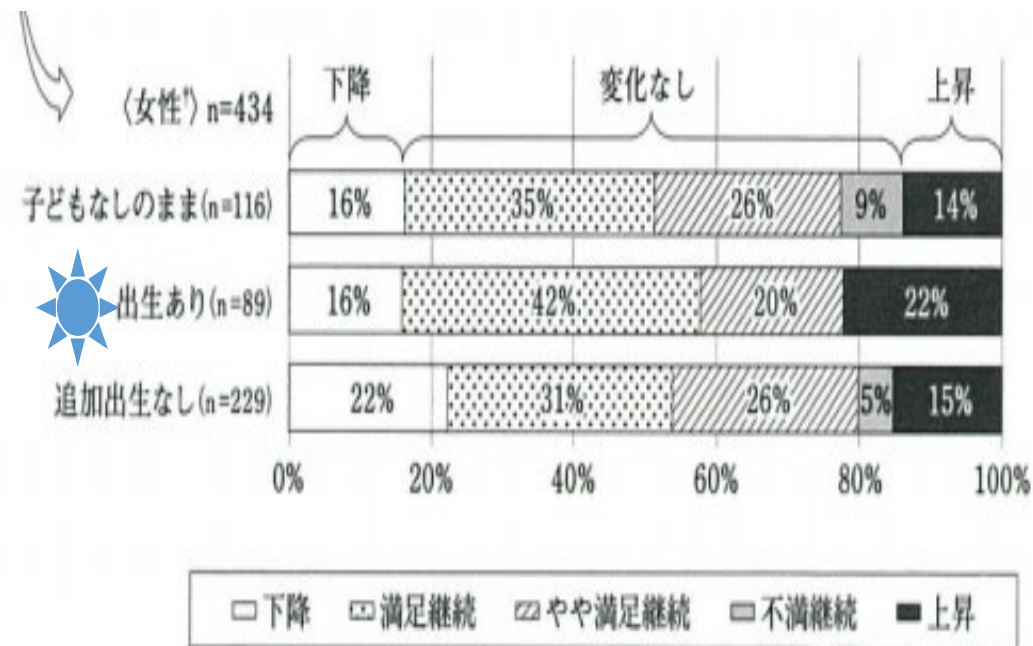
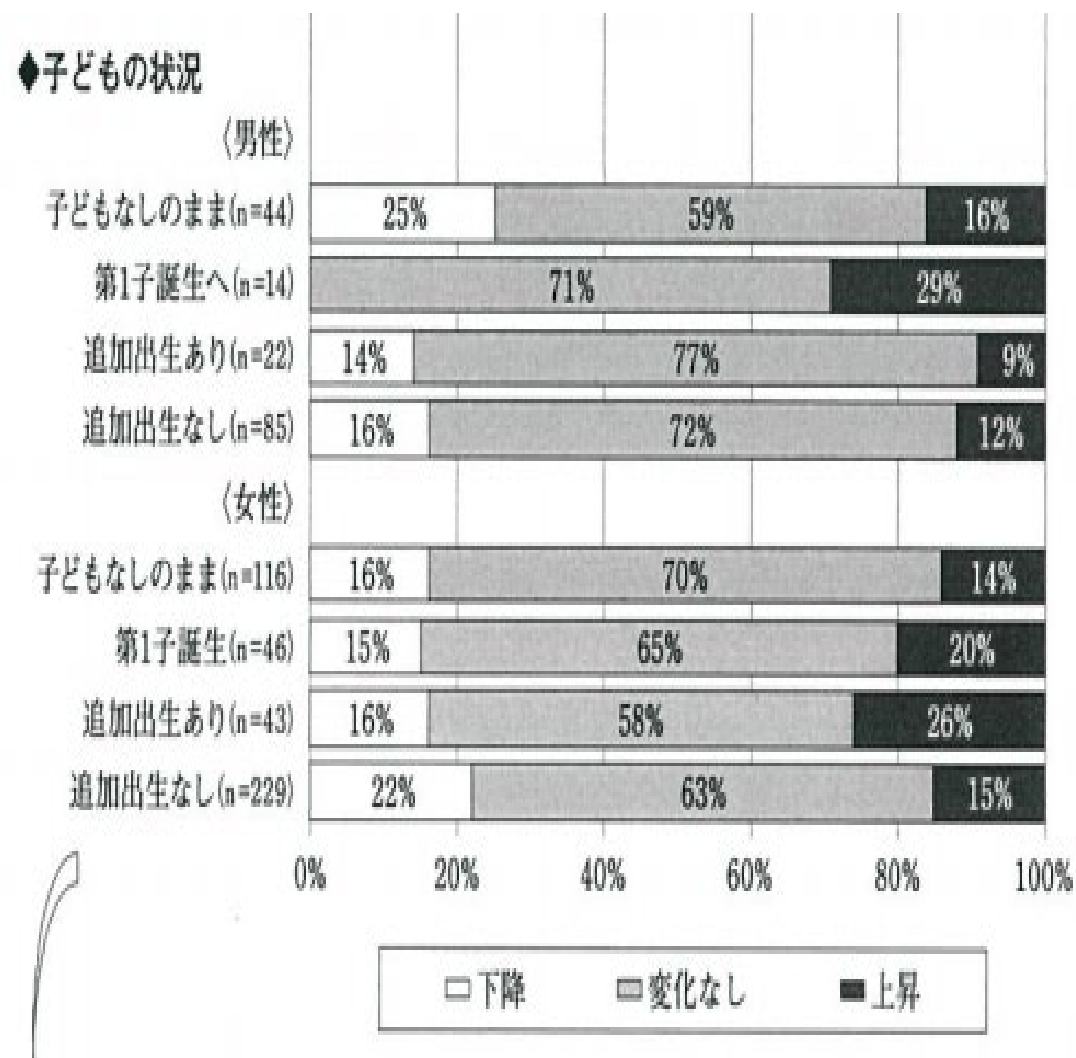


図 12 - 6 結婚満足度の変化（結婚年数と子どもの状況との関連）

5. おわりに

- (1) 結婚満足度と関連する要因の男女差
- (2) 家事や子育ての捉え方や経験における男女差
- (3) 結婚に至るまでの状況と地続きの結婚後の男女差

- ・ 満足度の低さは結婚生活のリスクを主に妻が負うことを示す

「少子化という『国難』も深まるしかない」（大沢：下巻7章）

家事・育児を女性が負担する状態が続けば「結婚回避」に（永井先生コメント）

- ・ 「少子化」という社会問題が夫婦，特に妻の主観的意識な問題として
処理されてしまう恐れ？



ワーク・ライフ・バランスの確保（「社会の中の夫婦」という視点）

「ネガティブ・ケイパビリティ」（有田：下巻13章）を高める必要（特に夫）